

指定管理者制度導入施設の運営状況（平成26年度）

1. 施設名等

施設名	大分港大在コンテナターミナル	所在地	大分市大字大在6番地
		電話番号	097-592-5931
		ホームページ	<a href="http://www.oitac.jp/">http://www.oitac.jp/</a>

2. 指定管理者および県の所管部課（窓口）

指定管理者	名称 株式会社大分国際貿易センター	所在地 大分市大字大在6番地	県の所管部課 (局・室)	土木建築部港湾課 TEL：097-506-4614
	指定期間	平成26年4月1日～31年3月31日		

3. 施設の概要

設置年月日	平成9年1月24日
設置根拠	大分県港湾施設管理条例
設置目的	大分港大在コンテナターミナルは、東南アジア、中国、韓国を中心としたアジア貨物の東九州における物流拠点として整備した施設である。平成4年4月に整備事業に着手し、平成8年11月に供用開始した。
事業内容	①港湾施設の維持管理及び修繕に関すること。 ②港湾施設の使用許可（工作物の設置を伴うものを除く）に関すること。 ③港湾施設の利用促進に関すること。 ④①から③のほか、港湾施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
施設内容	燻蒸庫1棟(2室)、マリンハウス1棟(研修室、休憩室、便所)、ガントリークレーン2基、警備員詰所1棟、トラックスケール1基、冷凍コンセント56口、照明設備5塔、受変電所1棟、保安設備1式
使用料等	【使用料】 ガントリークレーン：1回 26,500円(1時間以内) 燻蒸庫：1回 840円(1㎡) 冷凍コンセント：1口 320円(1時間) トラックスケール：1回 370円
閉館日	年中無休（365日・24時間フルオープン）

4. 目標指標の達成状況

指標	年度	目標数値	実績	達成率(%)
コンテナ取扱量 (実入、外貿及び内貿) (TEU)	平成23年度	34,800	31,325	90.0%
	平成24年度	35,600	32,004	89.9%
	平成25年度	36,400	33,346	91.6%
	平成26年度	37,700	33,130	87.9%

5. 施設の利用状況

利用者数(人) ※コンテナ取扱量 (実入り、空の合計量) (TEU)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	累計
	平成23年度	4,874	5,310	5,166	5,551	5,269	4,460	
平成24年度	4,577	3,864	4,222	4,354	4,901	5,144		
平成25年度	5,033	4,339	4,564	5,206	4,990	4,501		
平成26年度	4,855	4,771	4,441	4,186	5,159	4,685		
年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
平成23年度	5,419	4,788	3,896	4,453	3,784	4,264	57,234	
平成24年度	5,018	5,066	4,112	4,330	4,431	5,354	55,373	
平成25年度	4,358	4,819	5,434	4,487	4,517	5,941	58,189	
平成26年度	4,461	4,811	4,154	3,857	4,526	4,703	54,609	

6. 利用者満足度調査等の実施状況

利用者満足度調査	実施方法	アンケート等の実施により施設利用者の意見や苦情等を聴取する。
	実施結果	「大分港大在コンテナターミナル連絡調整会議」の際に、港湾利用業者から要望等の聴き取りを実施した。(7月28日)
利用者等からの主な意見・要望・苦情		左の対応状況
エプロン部分の白線が消えかかっており、夜間等の荷役作業時、見えにくい。		県に改修要望を行った。
キャリアが通るアスファルトに輪だちがある。		県に改修要望を行った。
パイロットを乗せたタクシーが構内を走り回るのが危険である。		守衛詰所にて通行帯が分かる図面を置いてドライバーに配布する。
4号ゲートから荷さばき所の間で通行区分(キャリア、一般車両)がなされていない。		一般車両の進入禁止を表示しているが、守られていないため、今後も守衛詰所で指導を行っていく。
木材集荷場から杉の皮が飛散しているのを、定期的に清掃をしてもらいたい。		県に要望を行った。
ヤード内のアスファルト全般にキャリアから漏れた油が付着しているので、キャリアの修理をしてもらいたい。		キャリア所有の業者に修繕要望を行った。

7. サービス向上に係る主な取組内容

サービス提供体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 施設の性能検査や日常点検、月例点検、年次点検を確実に良い良好な状態に維持管理し、365日・24時間常にサービス提供ができるよう努めた。特にガントリークレーンの修繕は、通常荷役に支障ないように常に1基が使用可能な状態を維持した。</li> <li>○ 「大分県ポートセールス実行委員会」と連携し、大分港大在コンテナターミナルを利用した際の助成制度のPR活動を行った。</li> </ul>
イベント等の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ サービス改善提案事業として「大分港大在コンテナターミナル夏休み親子教室」を開催し、優れた立地条件や国際コンテナ港として県内産業に果たす役割などの周知を図った。(8月22日 92名参加)</li> <li>○ 年度をととして、小学生の社会見学や企業向けの施設見学の受入れを行った。</li> </ul>

8. 管理に係る収支の状況

(単位：千円)

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
収入額(A)		48,150	48,150	48,150	48,544
内訳	県からの委託料	48,150	48,150	48,150	48,544
支出額(B)		45,664	45,662	46,985	49,986
内訳	人件費	20,381	21,058	21,632	22,576
	維持管理費	14,762	15,238	15,642	16,881
	その他(通信運搬費、消耗品費等)	10,521	9,366	9,711	10,529
収支差額(A-B)		2,486	2,488	1,165	-1,442

9. 施設使用料等の収入状況

使用料(千円)	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
	平成23年度	3,929	4,436	4,318	4,625	4,541	4,151	
	平成24年度	4,267	3,765	3,934	4,577	4,775	4,805	
	平成25年度	4,419	4,016	4,211	4,699	4,746	4,435	
	<b>平成26年度</b>	<b>4,306</b>	<b>4,488</b>	<b>4,326</b>	<b>4,435</b>	<b>4,699</b>	<b>4,552</b>	
	年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
	平成23年度	4,761	4,431	4,874	5,606	3,823	4,140	53,635
	平成24年度	4,580	4,573	4,163	4,877	4,634	5,172	54,122
	平成25年度	4,922	4,109	5,223	4,755	4,795	5,357	55,687
	<b>平成26年度</b>	<b>4,316</b>	<b>4,551</b>	<b>4,432</b>	<b>4,498</b>	<b>5,018</b>	<b>5,076</b>	<b>54,697</b>

10. 指定管理者の管理体制

施設管理体制	統括管理者(1・嘱託職員) 総務スタッフ(1・正規職員) 総務スタッフ(1・正規職員) 技術スタッフ(2・正規職員)							
	職員数 (H 26.4.1)	正規職員	パート	嘱託	他社から派遣	臨時職員	その他	合計
	4		1					5

11. 適正な管理運営に係る主な取組内容

職員の資質・能力の向上	当該指定管理者は、平成6年12月に行政や民間団体等の出資により設立された。また、技術スタッフの育成については、1級コンテナクレーン運転資格をはじめ港湾施設の管理及び作業に関する資格を取得させるなど、人材育成に力を入れている。
安全対策等	「大分港大在コンテナターミナル安全作業基準」の遵守を徹底させるとともに台風災害や設備事故には、緊急連絡網を活用し、適宜、適切な措置を講じられるよう体制を整えている。